

事業計画書

事業名	里山保育事業																								
場所	沼津市立少年自然の家 地内																								
実施予定期間	平成28年7月1日 ~ 平成29年3月31日																								
日程	実施項目・作業項目																								
	<p>0歳から3歳までの親子参加型保育を「こまめ」、受け入れ年齢層を広くし（4歳から6歳の未就学児）午後の時間を使って、預かり保育の体制で行う活動が「おまめ」。本格的な始動の前に、4月から試験的に活動を行い、よりよい形に整えていく準備を行っている。7月からは、土曜日や日曜日等を使って、発達障害児、幼児から小学校低学年までの体験型保育の体制も行う予定。夏休みのイベントやワークショップを行い、市民に広くこの活動を知ってもらい、その後の集客につなげる。人間関係において（とくに親子の関係）、よりよいコミュニケーションが図れるように、月に1回は、子育てに関する講座も設ける。人とのつながりがよいものになっていくよう、それに関するセミナーにも参加し、継続して勉強していく。事業の継続においても必要である。</p> <p>来年度に向けて、常時3歳から6歳を預かる保育体制を整える。</p> <p>(実施内容及びスケジュール等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施内容</th> <th>人員配置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>ホームページ、ちらし作成 3か月単位の会員制保育開始 (7~9月・10~12月・1~3月) 夏休み限定のイベントやワークショップの開催(7月~8月まで)</td> <td>1人(事業主)で対応</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>「こまめ」「おまめ」の活動</td> <td rowspan="9">月1回の講座・ワークショップにはボランティアを配置(3名から5名)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>「こまめ」「おまめ」の活動</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>来年度の預かり保育に向けての説明会 「こまめ」「おまめ」の活動</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>「こまめ」「おまめ」の活動</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>「こまめ」「おまめ」の活動</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>「こまめ」「おまめ」の活動</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>「こまめ」「おまめ」の活動</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>「こまめ」「おまめ」の活動</td> </tr> </tbody> </table>			実施内容	人員配置	7月	ホームページ、ちらし作成 3か月単位の会員制保育開始 (7~9月・10~12月・1~3月) 夏休み限定のイベントやワークショップの開催(7月~8月まで)	1人(事業主)で対応	8月	「こまめ」「おまめ」の活動	月1回の講座・ワークショップにはボランティアを配置(3名から5名)	9月	「こまめ」「おまめ」の活動	10月	来年度の預かり保育に向けての説明会 「こまめ」「おまめ」の活動	11月	「こまめ」「おまめ」の活動	12月	「こまめ」「おまめ」の活動	1月	「こまめ」「おまめ」の活動	2月	「こまめ」「おまめ」の活動	3月	「こまめ」「おまめ」の活動
	実施内容	人員配置																							
7月	ホームページ、ちらし作成 3か月単位の会員制保育開始 (7~9月・10~12月・1~3月) 夏休み限定のイベントやワークショップの開催(7月~8月まで)	1人(事業主)で対応																							
8月	「こまめ」「おまめ」の活動	月1回の講座・ワークショップにはボランティアを配置(3名から5名)																							
9月	「こまめ」「おまめ」の活動																								
10月	来年度の預かり保育に向けての説明会 「こまめ」「おまめ」の活動																								
11月	「こまめ」「おまめ」の活動																								
12月	「こまめ」「おまめ」の活動																								
1月	「こまめ」「おまめ」の活動																								
2月	「こまめ」「おまめ」の活動																								
3月	「こまめ」「おまめ」の活動																								
事業効果	<p>この里山保育を通して、親と子の関係をより充実させ、人間の成長にとって一番大切な保育期間をのびのびと過ごし、幸福感を得ることが重要である。沼津のすばらしい自然環境に親しみ、自然と触れ合える施設を有効利用することで、そこを訪れる様々な人たちとの交流も生まれる。地域での異世代交流がさかんになる。地域での見守る目がたくさんになり、事件、犯罪、事故などの防止に少しでもつながると考える。</p>																								

<p>公益性</p>	<p>保育園という決められた中で、決められたことをこなすのではなく、フィールドを拡大して、いろいろな地域で活動し、自分で考え出した遊びや工夫をする保育をすることで、地域活性化に結び付ける。幼児を主体とした催しものや、講座の開催など、地域住民を巻き込む活動もしていく。</p>
<p>発展性</p>	<p>補助金を受けることにより、自然の家のみならず、協力をして下さるという伊豆市の NPO 団体との合同企画ができる。伊豆市での開催への資金面での助けになり、沼津市のみならず、静岡県東部での「里山保育」の広がりに期待がもてる。伊豆市ではとくに、少子化や過疎化が広がっている中、この事業を通して、豊富な地域資源を活用し、魅力ある子育て地域として発信、そして発進できるよいチャンスである。互いに地域活性化を盛り上げていく。</p>
<p>地域性</p>	<p>駿河湾、狩野川、香貫山など、人が集まるスポットに、アウトドア関連の団体と結びつくことにより、子どもへ地域のすばらしさや愛着を伝えることができる。また、市内の公園も、フィールドのひとつとなれば、様々な世代でコミュニケーションができることだろう。</p>
<p>必要性</p>	<p>これからの静岡県の教育目標として掲げられた、「『有徳の人』の育成」。その有徳な人とは、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自らの資質・能力を伸長し、個人として自立した人 ② 多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にする人 ③ 社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人 <p>である。子どもは、一人格をもった小さな大人である。その人格形成は幼少期に確立される。そこで、愛情をもった子育てや教育ができなければ、昨今のような事件が引き起こされるだろう。その大事な幼少期に、自然を相手に、自分で考えること、自分で行動すること、自分から話すことができることなど、必要な教育を身につけることのできる里山保育は必要不可欠であると考ええる。</p>
<p>先導性</p>	<p>市内では誰も取り組んでいないスタイルの保育事業を開始。園舎をもたず、自分で考え、遊ぶという自己責任をもち、自主性を育むという生きた教育を実践。</p>
<p>継続性</p>	<p>保育園のひとつのスタイルとして、里山保育の位置を確立し、スタッフを増やしてたくさん子どもたちを受け入れる。来年度からは、毎日の活動として預かり保育を実施し、市民への認知度を上げていく。子育てやコミュニケーションに関わる講演会を開き、より暮らしやすい生き方も提唱していく。</p>